
7. 今後の予定

■7-1 検討会及び部会のスケジュール1



今後のスケジュールを示す。

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
実施スケジュール	環境保全対策の検討	橋梁設計	11月	下部工施工	8月	上部工施工	7月	舗装等	供用開始
環境モニタリング調査	予備調査	計画	事前調査	工事中調査			下部工事後調査(2年間)	上部工事後調査(2年間)	
検討会・部会	<ul style="list-style-type: none"> ■H25.8月：検討会の設立趣旨、進め方等 ■H25.9月：道路構造検討方針の決定 ■H25.10月：橋梁形式の検討 ■H25.12月：橋梁形式案に対する環境側面からの評価 ■H26.1月：環境保全対策(原案)の策定 ■H26.3月：環境保全対策の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ■H26.5月：モニタリング調査計画の策定 ■H26.8月：モニタリング調査計画の決定、橋梁設計の方針 ■H26.12月：一般の方々の生物観察データの募集 ■H27.3月：事前調査(速報)、調査計画のブラッシュアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ■H27.4月：橋梁設計の報告(景観の検討結果を含む) ■H27.10月：事前調査の中間報告、調査計画のブラッシュアップ ■H27.10月：工事中調査計画の確認 事前調査の中間報告 	<ul style="list-style-type: none"> ■H28.8月：事前調査結果の報告 ←★本日 	<ul style="list-style-type: none"> ■H29.6月頃：工事中調査結果の報告(H28年度分) 	<ul style="list-style-type: none"> ■H30.6月頃：工事中調査結果の報告(H29年度分) 	<ul style="list-style-type: none"> ■H31.6月頃：工事中調査結果の報告(H30年度分) 下部工事後調査結果の報告 	<ul style="list-style-type: none"> 工事中調査結果の報告(H31年度分)：■H32.6月頃 上・下部工事後調査結果の報告 	<ul style="list-style-type: none"> 上・下部工事後調査結果の報告：H33.6月頃 ■ 上・下部工事後調査結果の報告：H34.3月頃 ■

- ：検討会
- ：環境部会
- ：橋梁部会



■7-2 検討会及び部会のスケジュール2



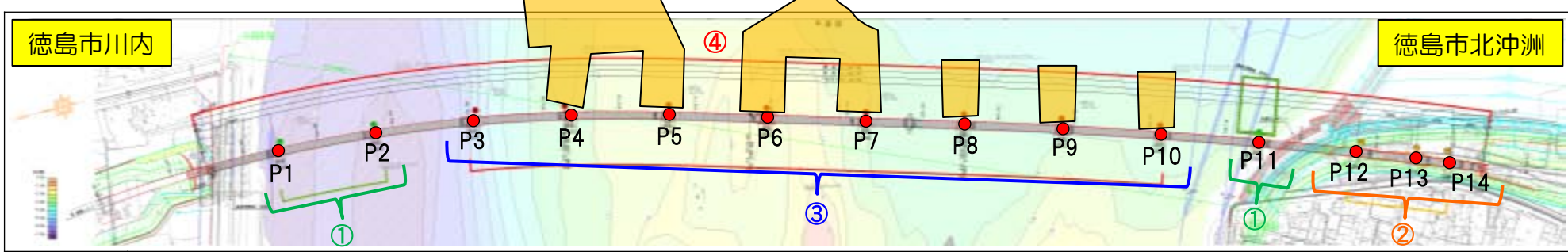
今後の検討会および部会の進め方を以下に示す。

	H28.8	H28.11 ~ H29.5	6月	H29.11 ~ H30.5	6月
検討会	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>■ 第7回検討会 (H28.8.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前調査結果の報告 (H26.9~H27.10) ・工事中調査結果の報告 (速報) (H27.11~H28.3) ・工事中調査計画の確認 </div>		<p>■ 第8回検討会 (H29.6頃)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事中調査結果の報告 (速報) (H27.11~H29.3予定) ・工事中調査計画の確認 		<p>■ 第9回検討会 (H30.6頃)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事中調査結果の報告 (速報) (H27.11~H30.3予定) ・工事中調査計画の確認
環境部会	<p>※環境モニタリング調査については適宜、各委員に確認する。</p> <p>※検討課題が生じた場合に、随時開催する。</p>				
橋梁部会	<p>※橋梁設計については適宜、各委員に確認する。</p> <p>※検討課題が生じた場合に、随時開催する。</p>				

■7-3 今後の工事予定(環境に配慮した工事の実施)



吉野川渡河橋梁の整備は、これまでの検討会・部会において決定された吉野川渡河部の環境に配慮した橋梁形式に基づき、平成27年度渇水期より施工に着手した。今後も、本検討会にて承認された「工事中の環境モニタリング調査方法」に従って、工事と合わせて適切に環境監視を行っていく。



下部工	①について(P1, P2, P11) 平成27年度渇水期より工事着手し、平成28年度渇水期にて完成予定。なお、 浚渫作業はP11脚箇所のみ実施 した。
	②について(P12, P13, P14) 平成27年度末より工事を実施中。
	③について(P3~P10) 平成28年度渇水期から順次工事を実施する。

※追加→ P1~P11について
橋脚の存在による河床消失面積：約561m²
(基礎部分の面積：約2,015 m²)

上部工 **④上部工整備**
下部工の完成に合わせて順次工事を実施する。

項目	平成27年		平成28年										平成29年							
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
下部工	①	準備工					出水期(6月~10月)					→								
	②				→															
	③												準備工					→		
上部工	④																			

← ※下部工の完成に合わせて順次施工 →



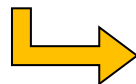
第2回検討会（平成26年1月16日開催）で決定した環境保全対策（原案）に基づき、引き続き、適切な環境保全対策を進めていく。

環境保全対策（原案）

対策1：環境保全に配慮した橋梁形式の採用

- 1-1 上部構造は渡り鳥の飛翔に配慮し、主塔、ケーブルのない桁橋を採用しました。
- 1-2 橋梁整備では下部工施工時の浚渫と比較して、上部工架設時に台船を用いると浚渫が大規模になることから、河床浚渫が生じない架設方法による橋梁形式を採用しました。
- 1-3 下部工（橋脚）による流況への影響が少なくなるように、橋脚数を減らしました。

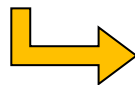
※その他の環境保全への配慮として、ルイスハンミョウの回廊（移動経路）については、橋梁構造のため妨げになりにくく、施工時にも空間を確保するよう配慮します。



※環境保全に配慮した橋梁形式は設計済み

対策2：工事中の環境保全対策

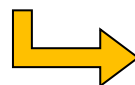
- 2-1 工事中は水質汚濁、騒音や振動の対策を実施します。
- 2-2 浚渫土砂は、影響の少ない処理方法を検討します。



※引き続き、適切に進めていく。

対策3：環境モニタリング調査の実施

- 3-1 橋梁整備による水の汚れや騒音・振動と生物への影響を監視します。



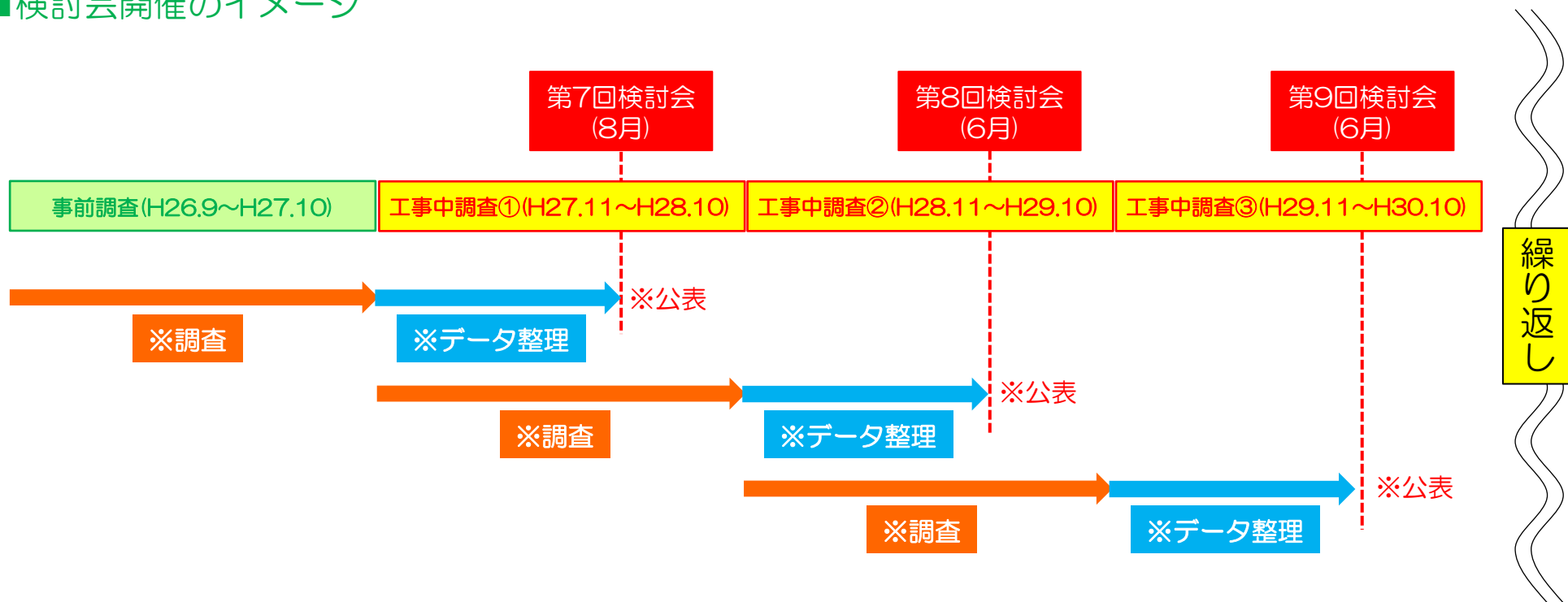
※引き続き、適切に進めていく。

■7-5 環境モニタリング調査結果の公表について

環境モニタリング調査結果の公表は以下とする。

- ①調査結果の確報は、検討会で確認された後、NEXCO西日本HPより公表していくことを基本とする。
⇒公表の内容は、調査結果のデータや、調査結果を踏まえた各種検討事項に関すること等。
- ②個別の調査の実施状況と工事の進捗状況は、NEXCO西日本HPより四半期に1回程度で公表していく。
⇒公表の内容は、いつ、どんな調査や工事が実施され、今後どういう予定であるのか等。

■検討会開催のイメージ



※環境モニタリング調査については、適宜各委員に確認する。検討課題が生じた場合に、環境部会を随時開催する。

環境モニタリング調査

実施状況

- 2016年（平成28年）1月
 - 環境モニタリング調査実施状況（平成27年9月～12月）（381KB）
- 2016年（平成28年）4月
 - 環境モニタリング調査実施状況（平成28年1月～3月）（341KB）

結果データ集

- 環境モニタリング調査（予備調査）調査結果データ集（平成25年6月～平成26年5月調査分）

- 第1章 予備調査の概要（130KB）
- 【底生生物調査】
 - 第2章 底生生物調査の概要（645KB）
 - 第3章 底生生物調査結果（146KB）
 - 第4章 周辺海域貝類調査結果（82KB）
 - 第5章 底生生物調査の参考資料（118KB）

【鳥類調査】

- 第6章 鳥類調査の概要（1,111KB）
- 第7章 飛行状況調査結果（572KB）
- 第8章 個体数調査結果（849KB）
- 第9章 夜間の飛行状況調査結果（1,465KB）
- 第10章 鳥類調査の参考資料（6,739KB）

- 環境モニタリング調査（事前調査）調査結果データ集（平成26年9月～平成27年10月調査分）

- 第1章 環境モニタリング調査の基本事項（162KB）
- 第2章 騒音・振動調査（434KB）
- 第3章 水質調査（1,578KB）
- 第4章 地形調査（4,129KB）
- 第5章 底生生物・底質調査（3,558KB）
- 第5章 底生生物・底質調査-参考資料（960KB）
- 第6章 鳥類調査（4,335KB）
- 第6章 鳥類調査-参考資料（3,514KB）
- 第7章 魚類調査（581KB）

※NEXCO西日本HPより公開中
調査結果のデータ集をPDFでダウンロード